

特別支援学校へ就学・転学する児童生徒の個人調書

教育委員会 平成 年 月 日 作成

ふりがな 児童生徒氏名	みやざき たろう 宮崎 太郎	男 女	生年月日 年 齡	平成 年 月 日 歳
保護者氏名	宮崎 一郎	続柄	父	
保護者住所	〒 - 郡 町大字 番地 (学齢簿のとおり記載すること)			
児童生徒の様子	所属等	市・町・村立 学校 第 学年 組 小学校未就学児の場合は保育所・幼稚園等の名称を記入すること		
		1 通常の学級 2 通級による指導(言語, 情緒, 弱視, 難聴, LD・ADHD) 3 特別支援学級(知, 自情)		
	障がい名	知的障がい	診断名	ダウン症候群
	障がいの状況等	検査名 田中ビネー 検査の結果 中度の知的発達遅れの 特別な教育課程での学習が 望まれる。平成26年5月実施 検査者等(中央児童相談所)	療育手帳 及び障がい者手帳 等(写を添付すること)	療育手帳 有・無・申請中 A・B1・B2 (平成26年8月7日交付) 身体障害者手帳 有・無 (第 種 級) (年 月 日交付)
障がいの状態及び教育的ニーズ	友だちと積極的に関わり、一緒に活動することを好むが、教科学習面で困難な課題が多くなり自信をなくしている。授業への参加を拒む様子が見られてきた。			
就学に関する意見・判断	本人・保護者の意見	これまでは、社会性の発達から通常の小学校での指導を望んでいたが、児童の特性に応じた指導を望むようになり、現在は知的障がい特別支援学校への就学を希望している。		
	就学指導委員会等の意見	知的障がい特別支援学校において指導を受けることが望ましい。		
	教育的ニーズ・必要な支援についての合意形成の概要	知的発達に中度の遅滞が見られ、特別な指導が必要であること、対人関係、社会性等については、少人数の中での丁寧な個別の指導により今後の発達が大きい期待できる。		
	市町村教育委員会の総合的判断	知的障がい特別支援学校への転学が適当であると判断した。		